

## 素案から案への変更点

### 1 計画の基本的な考え方と背景

頁	案	素案
4	区民意識 ○ユニバーサルデザインについての中野区民の認知度は <u>62%</u> 、理解度は <u>34%</u> となっています。	区民意識 ○ユニバーサルデザインについての中野区民の認知度は <u>60%</u> 、理解度は <u>33%</u> となっています。
<p>&lt;変更理由&gt; 「2017年中野区区民意識・実態調査」の数値を、「2018年中野区区民意識・実態調査」の数値に変更した。</p>		

### 2 基本理念 ハード（現状と課題）

頁	案	素案
23	歩道に障害物（看板・自転車等）があることに不便を感じている区民の割合 <u>64.5%</u>	歩道に障害物（看板・自転車等）があることに不便を感じている区民の割合 <u>68.2%</u>
	区内の公園や広場の満足度 <u>53.5%</u>	区内の公園や広場の満足度 <u>57.3%</u>
	施設を利用したとき必要な設備やサービスがないと感じている区民の割合 <u>23.6%</u>	施設を利用したとき必要な設備やサービスがないと感じている区民の割合 <u>25.6%</u>
	交通の便に対する区民の満足度 <u>62.9%</u>	交通の便に対する区民の満足度 <u>63.7%</u>
<p>&lt;変更理由&gt; 「2017年中野区区民意識・実態調査」の数値を、「2018年中野区区民意識・実態調査」の数値に変更した。</p>		
24	歩道に障害物があることに不便を感じている区民は <u>6割を超えています</u> 。区内には狭い道路や狭い歩道が多いため、路上に置かれた看板や自転車等によって安全・快適な歩行が妨げられる状況があります。	歩道に障害物があることに不便を感じている区民は <u>7割近くになっています</u> 。区内には狭い道路や狭い歩道が多いため、路上に置かれた看板や自転車等によって安全・快適な歩行が妨げられる状況があります。
	「公園や広場に不満」と答えた区民は <u>44%</u> で、その理由の上位4項目は「狭い」「数が少ない」「きれいでない」「ボール遊びができない」です。	「公園や広場に不満」と答えた区民は <u>41%</u> で、その理由の上位4項目は「数が少ない」「狭い」「きれいでない」「ボール遊びができない」です。

頁	案	素案
24	交通の便に対する満足度は「どちらかといえばよい」を含めると <u>94%</u> ですが、区内には、一部交通に不便な地区もあり、高齢化がさらに進むことを見据えた移動手段の検討も必要です。	交通の便に対する満足度は「どちらかといえばよい」を含めると <u>92%</u> ですが、区内には、一部交通に不便な地区もあり、高齢化がさらに進むことを見据えた移動手段の検討も必要です。
<p>&lt;変更理由&gt;  「2017年中野区区民意識・実態調査」の数値を、「2018年中野区区民意識・実態調査」の数値に変更した。</p>		

### 3 基本理念 ソフト（現状と課題）

頁	案	素案
31	区から必要なサービスが受けられていると満足している区民の割合 <u>65.0%</u>	区から必要なサービスが受けられていると満足している区民の割合 <u>67.8%</u>
	申請書などの手続関係の書類がわかりにくく不便を感じている区民の割合 <u>38.5%</u>	申請書などの手続関係の書類がわかりにくく不便を感じている区民の割合 <u>47.0%</u>
	食事や買い物などを安心してできる店が少ないと感じている区民の割合 <u>15.5%</u>	食事や買い物などを安心してできる店が少ないと感じている区民の割合 <u>14.9%</u>
	必要な区の情報が知りたいときに得られている区民の割合 <u>50.2%</u>	必要な区の情報が知りたいときに得られている区民の割合 <u>55.0%</u>
<p>&lt;変更理由&gt;  「2017年中野区区民意識・実態調査」の数値を、「2018年中野区区民意識・実態調査」の数値に変更した。</p>		
32	区から必要なサービスが受けられていると満足している区民の割合は、 <u>65%</u> という状況です。	区から必要なサービスが受けられていると満足している区民の割合は、 <u>区の業務改善などの取組により少しずつ高くなってきていますが、7割弱</u> という状況です。
	申請書などの手続関係の書類について、「わかりにくい」と感じている区民の割合は <u>4割程度</u> です。また、必要な区の情報が知りたいときに得られている区民の割合は、 <u>年代が若いほど低い傾向にあり、20代では3割程度に留まっています。</u>	申請書などの手続関係の書類について、「わかりにくい」と感じている割合が最も高いのは <u>20代・30代</u> で、 <u>いずれも半数以上</u> です。必要な区の情報が知りたいときに得られている区民の割合についても <u>20代・30代が最も低く、4割程度に留まっています。</u>

頁	案	素案
32	食事や買い物などを安心してできる店が少ないと感じている区民の割合は <u>16%</u> ですが、 <u>30代、60代、70代以上</u> では2割程度であり、高齢化がさらに進むことを見据えた対応が必要と考えられます。	食事や買い物などを安心してできる店が少ないと感じている区民の割合は <u>15%</u> ですが、 <u>70代以上</u> では2割を超えています。高齢化がさらに進むことを見据えた対応が必要と考えられます。
<p>&lt;変更理由&gt;  「2017年中野区区民意識・実態調査」の数値を、「2018年中野区区民意識・実態調査」の数値に変更した。</p>		

#### 4 基本理念 ハート（現状と課題）

頁	案	素案
38	ユニバーサルデザインの認知度 20代 <u>79.9%</u> 、30代 <u>64.6%</u> 、40代 <u>73.5%</u> 、50代 <u>69.1%</u> 、60代 <u>60.6%</u> 、70代以上 <u>41.3%</u>	ユニバーサルデザインの認知度 20代 <u>76.3%</u> 、30代 <u>62.4%</u> 、40代 <u>67.9%</u> 、50代 <u>62.1%</u> 、60代 <u>55.7%</u> 、70代以上 <u>43.5%</u>
	ユニバーサルデザインを知ったきっかけ（20代） 学校の授業で <u>54.2%</u> 、テレビやラジオ <u>24.1%</u> 、インターネット <u>20.5%</u>	ユニバーサルデザインを知ったきっかけ（20代） 学校の授業で、テレビやラジオ、インターネット
	障害者差別解消法の認知度 <u>25.5%</u>	障害者差別解消法の認知度 <u>28.9%</u>
	男女共同参画社会の認知度 <u>64.6%</u>	男女共同参画社会の認知度 <u>60.2%</u>
<p>&lt;変更理由&gt;  「2017年中野区区民意識・実態調査」の数値を「2018年中野区区民意識・実態調査」の数値に変更及び「平成29年度健康福祉に関する意識調査」の数値を「平成30年度健康福祉に関する意識調査」の数値に変更した。</p>		
39	2016年の障害者差別解消法の施行以降、様々な取組を進めてきましたが、障害者差別解消法の認知度は <u>26%</u> に留まっています。	2016年の障害者差別解消法の施行以降、様々な取組を進めてきましたが、障害者差別解消法の認知度は <u>29%</u> に留まっています。
	男女共同参画社会の認知度は <u>65%</u> ですが、「内容も知っている」区民は <u>30%</u> に留まります。	男女共同参画社会の認知度は <u>60%</u> ですが、「内容も知っている」区民は <u>31%</u> に留まります。

頁	案	素案
39	ユニバーサルデザインの認知度は <u>62%</u> ですが、年代による差もあり、「まったく知らない」区民も <u>36%</u> という状況です。	ユニバーサルデザインの認知度は <u>60%</u> ですが、年代による差もあり、「まったく知らない」区民も <u>39%</u> という状況です。
<p>&lt;変更理由&gt;  「2017年中野区区民意識・実態調査」の数値を、「2018年中野区区民意識・実態調査」の数値に変更した。</p>		